

【一】 次の「二」～「三」の間に答えなさい。

「二」 次の漢字の読み方を□の中に書きなさい。

新 しいクレヨンを 買 う。

【二】 次の□の中に漢字を書きなさい。

ちや

なが

いろの ぐつ。

【三】 次の文の中からかたかなで書く言葉を見つけて、□の中にかたかなで書きなさい。

(一) おとうさんは むかし あめりかに いった ことが ある そうだ。

(二) きのうから つめたくて つよい かぜが びゅうびゅうと ふいて いる。

二 さとしさんは夏休みに家族と動物園に行ったことをみんなの前で発表することになりました。話すとき、話を三つ見つけて、()の中に〇を書きなさい。

() 夏休みは毎日七時に起きました。

() 夏休みに家族と動物園に行きました。

() おりの中にはゾウやキリンなどのたくさんの動物がいました。

() 朝ごはんを食べたおにぎりがおいしかったです。

() ウサギにえさをあげることもできました。

〔三〕 次の「二」～「四」の間に答えなさい。

〔二〕 次の文の に当てはまる言葉を、ア～ウから一つずつえらび、記号に○をつけなさい。

(一) わたしは、誕生日プレゼントに自転車^{たん}をもらいました。
 に乗って、明日公園にでかけます。

- ア それ イ どれ ウ あれ

(二) この道をまっすぐ行つた先に、赤い屋根の家が見えますね。
 がわたしの家です。

- ア これ イ どれ ウ あれ

(三) むかし、魚の本を持っていました。
 本には、メダカのことがかくわしく書いてありました。

- ア どの イ その ウ この

〔二〕 次の言葉をローマ字で書くと、どれが正しいですか。ア～ウから一つずつえらび、記号に○をつけなさい。

- (一) しやしん
ア sashin イ shashin
ウ syoshin

- (二) きつぷ
ア kipu イ kiipu
ウ kippu

「三」 次の文の——線部には慣用句かんくが使われています。() に当てはまる言葉を、後のアゝ力からえらび、() の中に記号を書きなさい。

(二) ぼくの兄は、サッカーがとてもうまいので、弟として (一) が高い。

(二) ライバルたちが () をちらす。

(三) もしも困ったことがあれば、かれに相談すると、
しれないよ。

() が広いから助けてくれるかも

才	ウ	ア
火花	顔	口
力	エ	イ
音	油	鼻

〔四〕 次のア、エの語句の意味を、国語辞典（じてん）を使って調べました。一番初めに出てくる語句（く）の記号に○をつけなさい。

(二) ア 帰路
イ 休校
ウ 汽車
エ 曲名

(二) ア 語学
イ 高地
ウ 向上
エ 今回

【四】 ゆりえさんは、水族館のイルカのし育員にインタビューしたことを作文に書こうと考え、上のア～オのメモを書き、作文の組み立てを考えました。下の問に答えなさい。

【ゆりえさんのメモ】

ア 仕事に来たら、まずはイルカにエサをあげる。イルカショーは午前と午後の二回行う。ショーが終わったら、プールのそうじをする。

イ イルカのエサは一日五回あげる。イルカのエサは小魚などで、一日でたくさんのおりょうを食べる。

ウ し育員の仕事は、思っていたよりも体力をつかう仕事だった。し育員さんが元気であることも大切だと思った。

エ 小さいころ、イルカショーを見て、イルカといっしょに泳いでみたいと思った。

オ し育員の仕事は、イルカと信じあひ合うことがかせない仕事だ。

【作文の組み立て】

- 1 昔、家族で水族館に行ったときに、イルカショーを見て、し育員さんの仕事にきょうみをもったこと。
- 2 し育員さんの一日の仕事の流れのせつめい。
- 3 し育員さんが仕事をするときに気を付けていることのせつめい。
- 4 インタビューをして考えたこと。

【一】 【作文の組み立て】の 1・2 の内容を書くのにひつようなメモを、上のア～オの中から一つずつえらび、記号で答えなさい。

1

2

【二】 次の【しりょう】は、どのメモの内容を作文に書くときにひつようになりますか。上のア～オから一つえらび、記号で答えなさい。

【しりょう】

A 水族館のイルカの1日の食事メニュー

食事内容	重さ
サバ30 ^{びき} 匹	5kg
イワシ20 ^{びき} 匹	3kg
イカ15 ^{ひき} 匹	2kg

【三】 ウとオのメモを使って、【作文の組み立て】の 4 の部分を次のように書いています。

□に入る内容を後の《じょうけん》①～③にしたがつて書きなさい。

イルカのし育員の仕事は、ショーのほかにもいろいろなことがあると分かった。し育員の仕事は、□が大切だと思った。

《じょうけん》

- ① 二十字から四十字までで書くこと。
- ② □の前後につながるように書くこと。
- ③ ウとオのメモの言葉をどちらも使うこと。

【五】 次の「二」～「四」の間に答えなさい。

「二」 次の（二）～（六）の言葉は、後のア～ウのどの言葉に当てはまりますか。それぞれ記号で答えなさい（同じ記号を何回使ってもよい）。

（一）手紙		（二）パン		（三）会話	
（四）ガラス		（五）あさがお		（六）混雑	
ア 和語 イ 漢語 ウ 外来語					

【二】 次の（二）・（二）の言葉を外来語になおしなさい。

（一）きまり、規則	
（二）助言	

【三】 次の（二）～（六）の――線部に当てはまる漢字を下のア～カからえらんで、それぞれ記号で答えなさい。

（一）かれは <u>セキ</u> 任感が強い。		ア 績
（二）がんばったので成 <u>セキ</u> が上がった。		イ 積
（三）立方体の体 <u>セキ</u> を求める。		ウ 責
（四）木 <u>ハン</u> 画を制作する。		エ 飯
（五）今日は、お赤 <u>ハン</u> だ。		オ 反
（六）光が <u>ハン</u> 射する。		カ 版

〔四〕 次の（一）・（二）について、それぞれ意味が通る文になるように、記号をならびかえなさい。

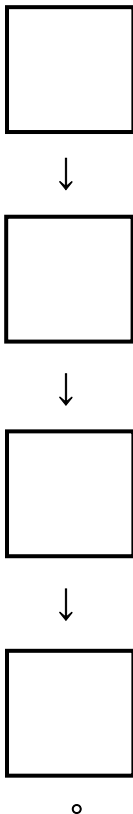
（一）

ア さいた

イ あさがおが

ウ わたしの

エ 植えた。
。



（二）

ア かわいい

イ 友人が

ウ ぬいぐるみは

エ とても

オ くれた。
。



著作権保護のため公開できません

著作権保護のため公開できません

「一」 空らん 1 ・ 2 に当てはまる言葉を次のア～カからえらんで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア アリ イ 女王様 ウ 正義ぎの味方 エ 地下てい帝国
- オ 伝統とと文化 カ 信用

1

2

「二」 空らん 3 に当てはまる言葉を次のア～エからえらんで、記号で答えなさい。

- ア そして イ また ウ しかし エ つまり

「三」 空らん 4 に入るセリフを考えて書きなさい。

「四」 空らん 5 に当てはまる言葉を次のア～エからえらんで、記号で答えなさい。

- ア 猫ねこに小判ぼん イ 馬の耳に念仏ねんぶつ ウ 豚ぶたに真じゆ エ 犬えん猿なかの仲

「五」――線「私は怒いかりを覚おぼえつつ」とありますが、筆者はどのようなことに怒いかりを覚おぼえたのですか。答えなさい。